日刊
人吉新聞
発行所
人吉新聞社
〒868-0072人吉市西間下町112-3
電話(0966)24-2111(代)
FAX(0966)24-2113(代)
(HP) www.hitoyoshi-sharepla.com
(✉) daihyou@hitoyoshi-press.com

保険 調剤
あなたの健康を守り調剤する
ぎんなん薬局
人吉市宝来町
■PHONE (0966)28・3335
■FAX (0966)28・3919

災害ネットワーク構築を

ひとよし球磨JC 青年団体招き連携模索

熊本地震 1年

昨年4月に発生し、熊本市や益城町などを中心に甚大な被害をもたらした「熊本地震」から間もなく1年を迎える。一般社団法人ひとよし球磨青年会議所（JC、都登祐樹理事長）は7日夜、人吉商工会議所で郡市内外の青年団体を招いての例会を開き、熊本地震を教訓に災害に強い地域づくりについて意見を交わした。

熊本地震は、14日にマグニチュード6・5の前震、16日にマグニチュード7・3の本震が相次いで発生。益城町と西原村で震度7、熊本市や南阿蘇村などで震度6強の激しい揺れを観測し、郡市でも16日に人吉市などで震度5弱の揺れに見舞われ、観光面などで影響が出た。ことし3月13日までに震度1以上の地震が4271回発生している。

4月度例会「熊本地震から考える」
2017年度

熊本地震の被害状況を説明する日野氏

災害発生時の取り組みを協議する参加者

ひとよし球磨JCは、この震災で高まる防災・減災への意識を保ち、災害発生時の態勢の構築や各青年団体との連携強化などを目的に、4月度例会に合わせて勉強会を計画。人吉商工会議所青年部、県南地区商工会青年部連絡協議会、球磨地域農協青壮年部、人吉ロータアクトクラブ、えびのJCのメンバーら約80人が参加した。

午後7時に開式し、熊本地震で亡くなった人に黙とうをささげたあと、都登理事長と今林正直前理事長が「災害におけるネットワーク構築への一助となれば」とあいさつ。

前半は、日本JC九州地区熊本ブロック協議会の日野正人直前会長（41）が講話。熊本地震発生直後の写真を交えて被害状況等を説明し、同協議会や日本JCが行った活動内容を報告。「災害発生時は自助、共助、公助が必要で、まずは自分の命を守ることが大切。人吉球磨には『人吉盆地南縁断層』があり、突然の地震に見舞われる可能性があることを心にとどめておいてほしい」と呼び掛けた。

そのあと、団体別のディスカッションに移り、熊本地震後の取り組みや今後の課題などについて協議。「被害状況を把握し、避難所のニーズに合わせた支援が必要」「備蓄している物資の定期的な確認を」「情報を共有することで円滑な支援が可能」といった意見が出され、各青年団体が連携した災害ネットワークを構築する必要性を説く団体もあった。

えびのJCの明石太暢理事長（37）は「熊本地震をはじめ、自然災害の恐ろしさを再認識し、風化させてはいけないと改めて感じた。私たちの地域では、えびの地震から来年で50年を迎える。えびの市でも各団体が協力し合えるような体制を築く必要がある」と話した。

戦争の恐怖間近に

連合熊本県南3地協 手柴さん招き研修会

日本労働組合総連合会熊本県連合会（上田淳会長）の県南3地域協議会合同研修会が8日、人吉市上青井町のホテルサン人吉で開かれ、錦町役場の手柴智晴学芸員を講師に招いて、錦町木上の人吉海軍航空隊基地跡について知識を深めた。

各地協から約50人が出席、午前9時に開会。上田会長は「政治状況と連合の課題」と題して講話し、地協ごとに活動内容を報告した。

特別講話では、手柴さんが同基地跡の施設を写真を交えて、その歴史や調査状況などを説明。「直近に迫った本土決戦に向けて建設された多くの地下施設から日本海軍の覚悟と緊張が見える。民間人が空襲に巻き込まれ、戦争の恐怖を物語っている」と述べた。

そのほか、終戦工作に尽力したことで知られる人吉市出身の海軍少将・高木惣吉、南太平洋で沈没した旧日本海軍の軽巡洋艦「球磨」など郡市に関する事柄も紹介。

人吉海軍航空隊について学んだ講演会

出席者は、戦争の悲惨さを感じながら講話に耳を傾け、あさぎり町上で見つかっている「掩体壕（えんたいごう）」と同基地との関連性などについて質問があった。

お天気歳時記

カイドウ

カイドウ（海棠）の寺として知られる人吉市下原田町の石水寺では、開花が遅れていたがようやく見頃となっている。

カイドウは中国原産で、帝の前に出たほろ酔いの楊貴妃が「海棠の眠りがまだ覚めません」と答えた故事から「眠れる花」とも呼ばれ、花言葉は「美人の眠り」。また、雨に打たれて深く垂れ下がっている花の様子は、美人が思い悩んでいるようで、「海棠の雨に悩める風情」とも。

週間予報

11日(火)	☂
12日(水)	☀/☁
13日(木)	☀/☁
14日(金)	☀/☁
15日(土)	☁
16日(日)	☁/☀

あすの天気

東のち西の風
雨　夜曇り

日出	5時53分
日入	18時44分
予想最高気温	19度
予想最低気温	14度

きのうの記録

最高気温	20・9度
最低気温	14・7度
最小湿度	71%

くすりの安民堂

瀬音

先の九州地区高校野球熊本大会で、郡市4校はいずれも初戦を突破。その中で球磨工高はベスト4に進出したが、またしても熊本市内の私学の壁を突破できなかった▼郡市勢の活躍で最も印象に残るのは、甲子園出場を懸けた昭和60年夏の多良木高。後にプロ野球で活躍した野田浩司投手を中心に快進撃。強豪の熊本工高を撃破するなど旋風を巻き起こし、準決勝で九州学院に0―1で惜敗したが、保護者や町民、しまいには郡市民を挙げて盛り上がった▼近年では、プロ注目の本格派右腕の善武士投手を擁する多良木高が平成25年秋の九州高校野球熊本大会と翌26年のNHK旗の主要2大会を制し、悲願の“甲子園”出場の夢が膨らんだが、またしてもついえた▼昨年夏の大会も、多良木高がベスト4、球磨工高はベスト8まで勝ち進むなど郡市勢は選手や野球関係者の努力もあってレベルアップ。県内外から有望選手を集めている熊本市内の強豪校の私学との力の差が縮まってきているように感じる▼1年生の新戦力も加わり、さらなるパワーアップが期待されるだけに、今夏の大会では「人吉球磨から甲子園へ」という郡市民の夢の実現を心から願っている。

準備物
・運動しやすい服装（ジャージなど）
・着替え（必要な方）・タオル・運動靴・飲料水

JAくま ハツラツ 健康スクール参加者募集！

運動メニュー内容・全23回開催予定
★エアロビックダンス、ダンス
（曲に合わせて、体を動かしていきます）
★ステップ運動（ステップ台を使った運動です）
★チェアビクス
（椅子に座ったまま、体を動かしていきます）
★ストレッチ ★筋肉トレーニング

定員30名（男女問わず） どなたでも参加できます
■開催期間：平成29年 4月～平成30年 3月
■開催時間：平日・午前10：00～11：30
■会　費：年間 6,000円（前期分 3,000円 後期分 3,000円）
■会　場：あさぎり支所2F会議室
お問い合せ先 JAくま本所　総合企画課　担当：山片・日根野
☎0966-38-1101　FAX0966-38-0099